

構成組織、地方連合会における女性の労働組合への参画に関する調査 2022年実施・速報版

<調査実施の概要>

- ・ 調査の対象：連合の構成組織（オブ加盟組織、友好参加組織含む）と地方連合会
- ・ 調査の実施時期：2022年5～6月
- ・ 回収状況：構成組織47組織中46組織、地方連合会47組織

※本文および図表の比率は小数第2位以下を四捨五入しています。個々の回答比率を足し合わせた数値と合計した比率は、必ずしも一致しない場合があります。

連合「ジェンダー平等推進計画」 フェーズ1 2021.10～2024.9

連合本部・構成組織・単組・地方連合会の具体的な目標

		連合本部	構成組織	単組	地方連合会
< Change (チェンジ) ! 達成目標 (必ず達成しなければならない目標) >					
1	2021年10月以降、組合員の男女比率を毎年調査、把握（連合本部が引き続き「参画調査」を実施）	○	○	○	○
2	2024年9月末までに女性役員（会計監査を除く）を選出	達成済	○	○	達成済
3	2024年9月末までに執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	○	Challenge ! 推進目標で	Challenge ! 推進目標で	○
4	2024年9月末までに女性を常時上三役（会長・会長代行・事務局長）に登用し得る環境整備	○	-	-	-
5	2021年10月以降に策定する運動方針に「『ジェンダー平等』の推進」と明記	○	○	○	○
< Challenge (チャレンジ) ! 推進目標 (推進すべき目標) >					
6	大会や中央委員会等議決機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	○	○	○	○
7	執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	Change ! 達成目標で	○	○	Change ! 達成目標で
8	「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置	○	○	○	○
9	多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、活動スタイルを点検、見直し	○	○	○	○

※1～4・6・7は「労働組合における男女平等参画」、5・8・9は「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」のための目標

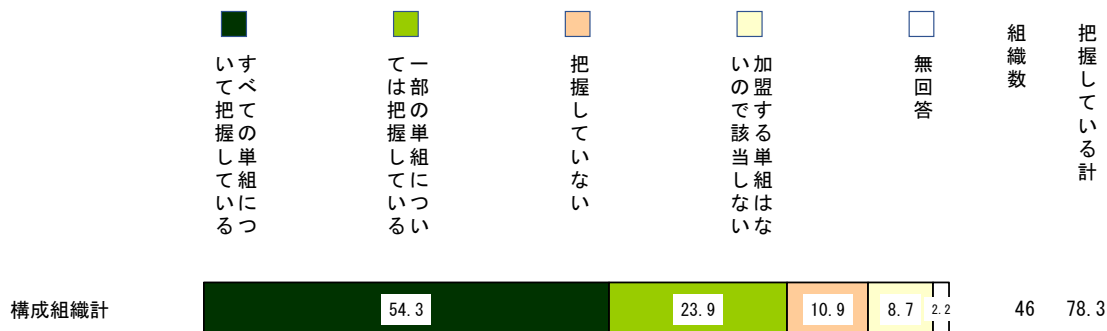
1. 構成組織調査

(1) Change! 達成目標 (必ず達成しなければならない目標)

①組合員の男女比率の調査、把握

加盟単組の男女別組合員数について「すべての単組について把握している」が 46 組織中 25 組織 (54.3%) と 5 割強を占める。また、「一部の単組については把握している」は 11 組織 (23.9%) でこれらをあわせた<把握している>は 36 組織(78.3%)である。一方、「把握していない」が 5 組織(10.9%)ある (第 1 図)。

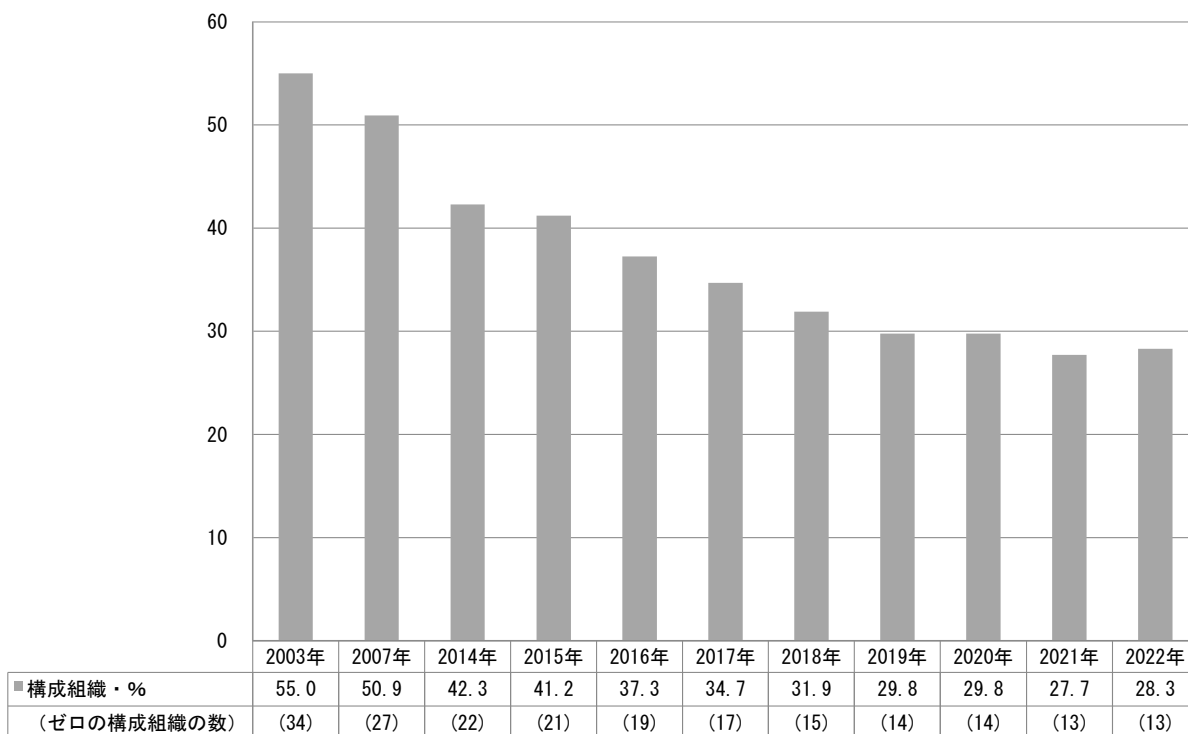
第 1 図 加盟単組の男女別組合員数、執行委員数の把握



②女性役員の選出

女性執行委員を選出していないゼロ組織は 13 組織で、全体の 28.3%を占める。連合「第 4 次男女平等参画推進計画」(第 4 次計画) 開始翌年 (2014 年調査) は、ゼロ組織が 4 割強を占めており、この間その割合は徐々に減少しているものの、ゼロ組織の数は 2021 年調査と変わらなかった (第 2 図)。

第 2 図 女性執行委員「ゼロ」組織の割合と「ゼロ」組織数



③運動方針への明記

運動方針への明記については、「ジェンダー平等の推進を明記」が29組織（63.0%）と最も多く、これに「男女平等参画の推進を明記」（11組織、23.9%）をあわせると、＜明記している＞組織数は40組織（87.0%）である。一方、6組織（13.0%）が「ともに明記していない」と回答している（第3図）。

第3図 運動方針への「男女平等参画の推進」や「ジェンダー平等の推進」の明記の有無



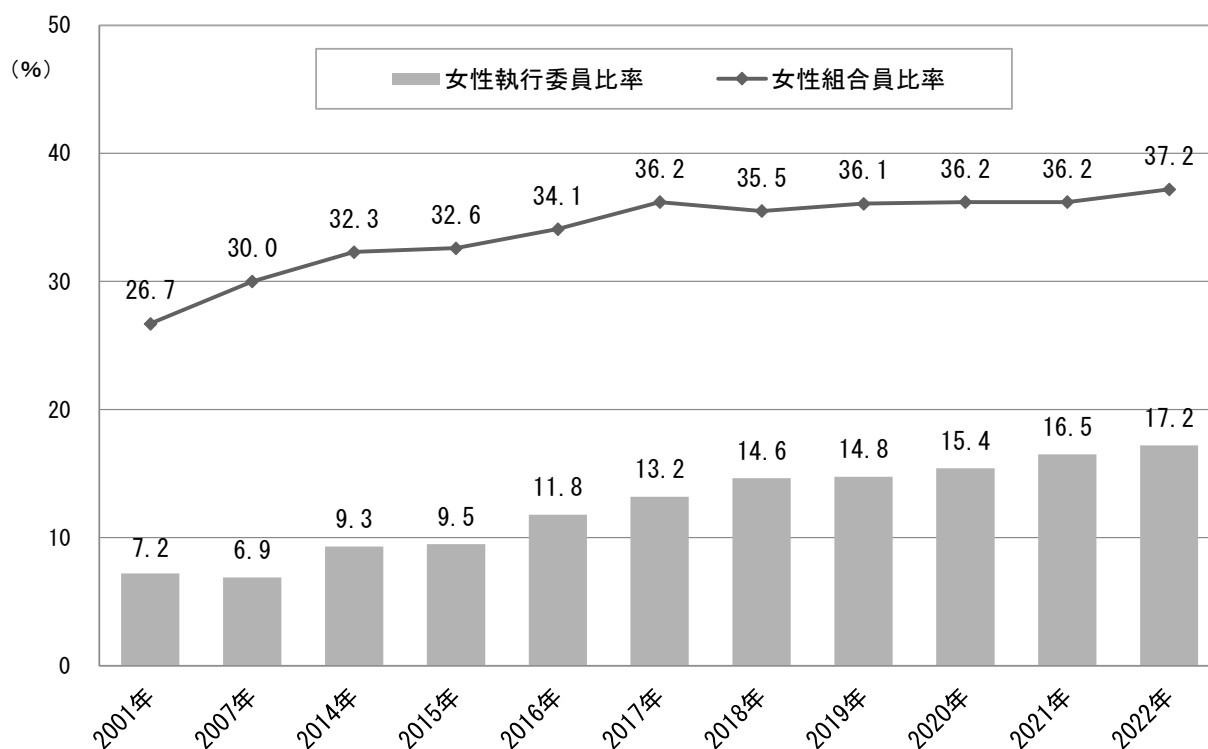
(2) Challenge！推進目標（推進すべき目標）

①執行機関への女性の参画機会の確保

女性執行委員比率は17.2%である。第4次計画開始翌年（2014年調査）と比べると、約8ポイント上昇した。ただし、この間、女性組合員比率も微増傾向にあり、女性組合員比率は37.2%を占める。依然として女性組合員比率と女性執行委員比率との乖離は大きい（第4図）。

なお、女性三役を選出している組織は10組織（21.7%）、三役に占める女性三役比率は4.9%である。女性三役を選出している組織数は、2014年調査では52組織中5組織で第4次計画期間中に5組織増加した。

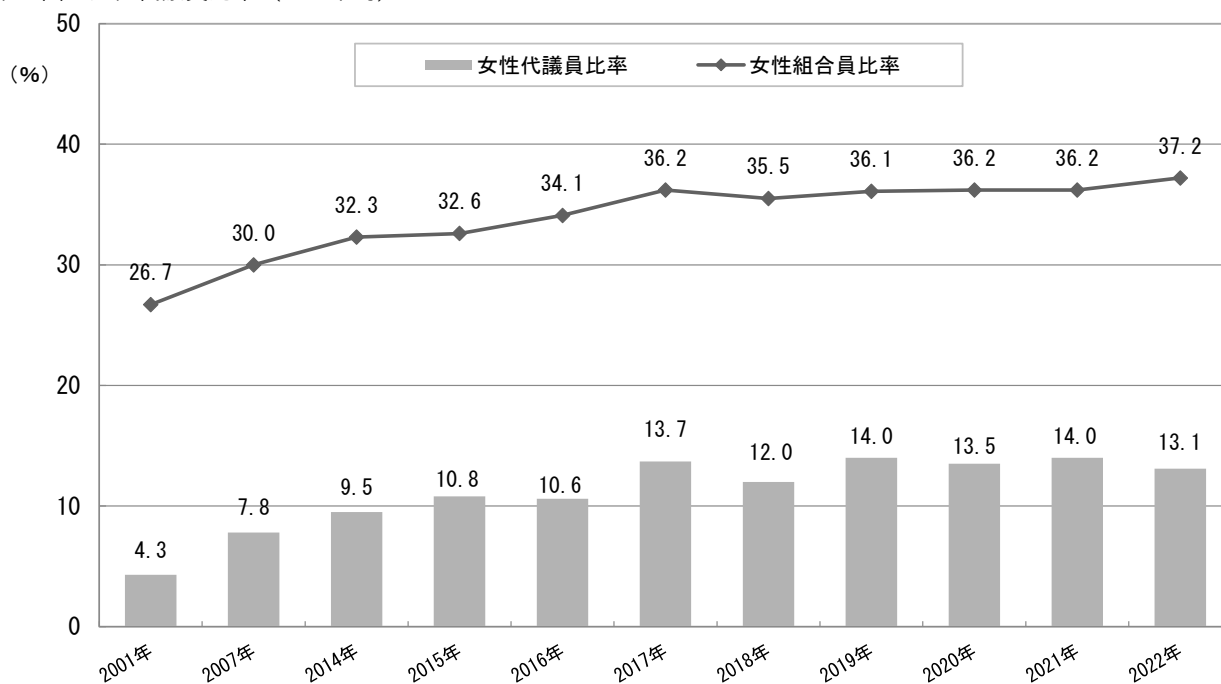
第4図 女性組合員比率と女性執行委員比率（加重平均）



②議決機関への女性の参画機会の確保（大会）

大会代議員に占める女性代議員の比率は13.1%である。第4次計画開始翌年（2014年調査）と比べると、約4ポイント上昇しているが、2017年調査以降、横ばいが続いている（第5図）。

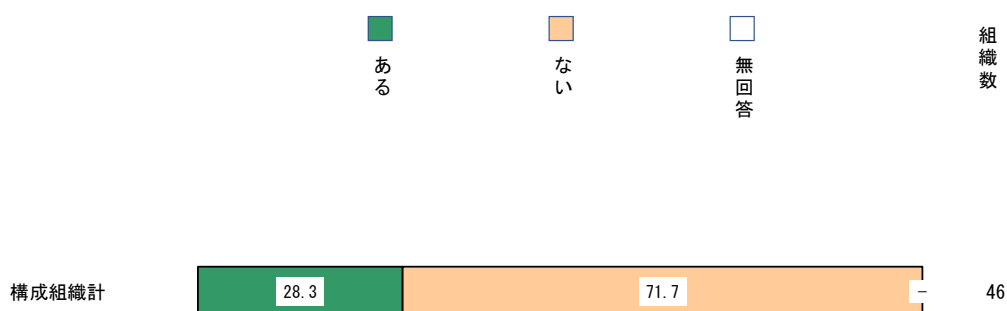
第5図 女性代議員比率（加重平均）



③ジェンダー平等推進を目的とする委員会等の会議体の設置

男女平等だけでなく、「性的指向・性自認（SOGI）の尊重」を目的に明示した委員会組織が「ある」は46組織中13組織（28.3%）である（第6図）。

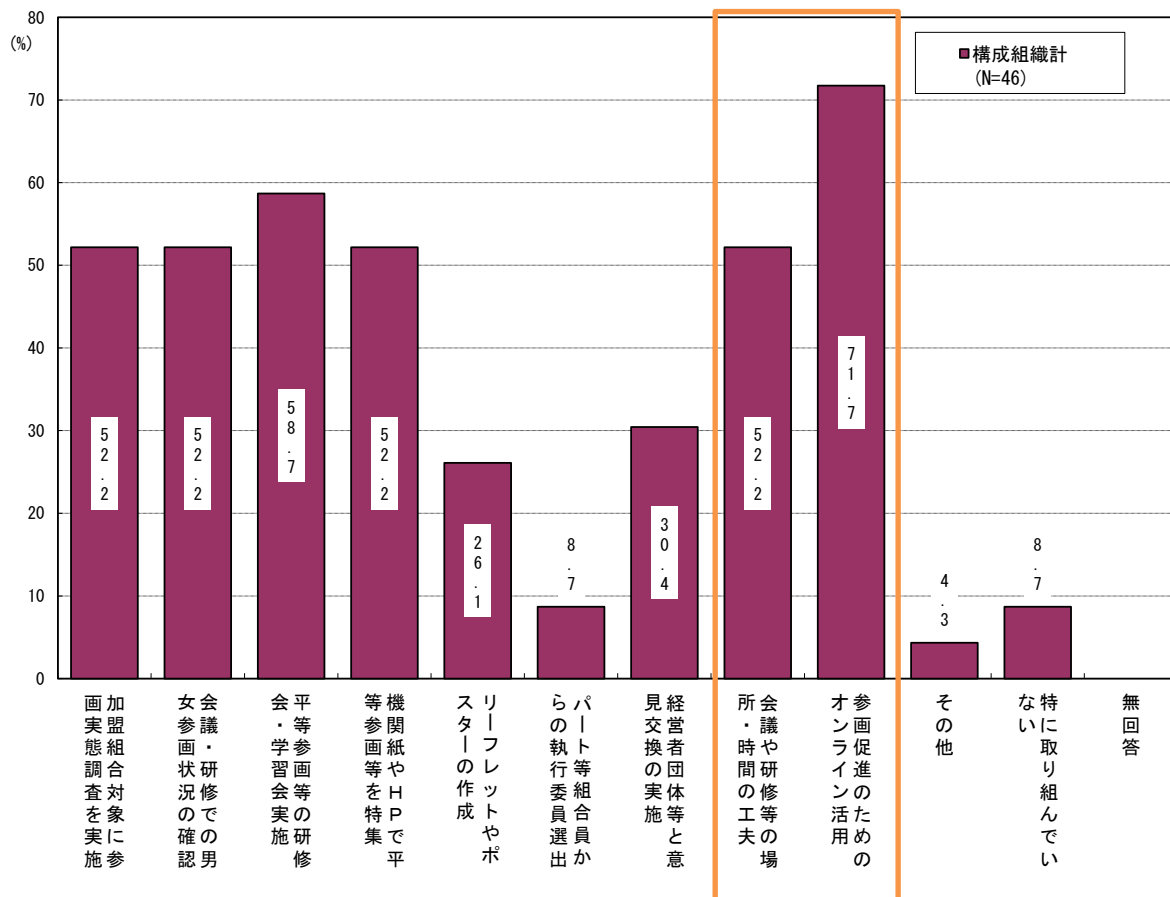
第6図 男女平等だけでなく「性的指向・性自認（SOGI）の尊重」を目的に明示した委員会組織



④多様な人たちが参画できる活動スタイルの点検、見直し

男女平等参画、ジェンダー平等推進の取り組み(複数選択)についてみると、「特に取り組んでいない」は4組織(8.7%)にとどまり、取り組みを行っている組織が大半を占める。なかでも、「参画促進のためのオンライン活用」は、33組織(71.7%)で取り組みが行われている。また、「平等参画等の研修会・学習会実施」(27組織、58.7%)や「加盟組合対象に参画実態調査を実施」(24組織、52.2%)、「会議・研修での男女参画状況の確認」(同)、「機関紙やHPで平等参画等の特集」(同)とともに、多様な人たちが参画できる活動のため、「会議や研修等の場所・時間の工夫」(同)に取り組む組織も過半数を占める(第7図)。

第7図 男女平等参画、ジェンダー平等推進の取り組み(複数選択)



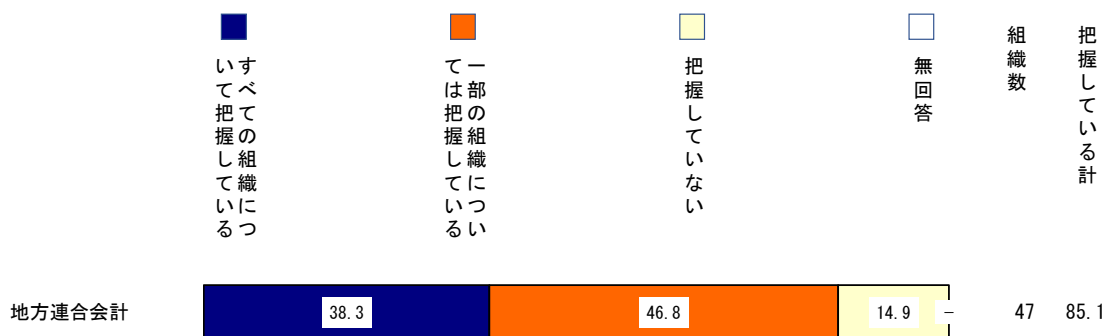
2. 地方連合会調査

(1) Change! 達成目標 (必ず達成しなければならない目標)

①組合員の男女比率の調査、把握

加盟組織の男女別組合員数の把握状況を見ると、「一部の組織については把握している」が 22 組織 (46.8%) と最も多く、「すべての組織について把握している」は 47 組織中 18 組織 (38.3%) にとどまる。一方、「把握していない」は 7 組織 (14.9%) である (第 8 図)。

第 8 図 加盟組織の男女別組合員数の把握の有無

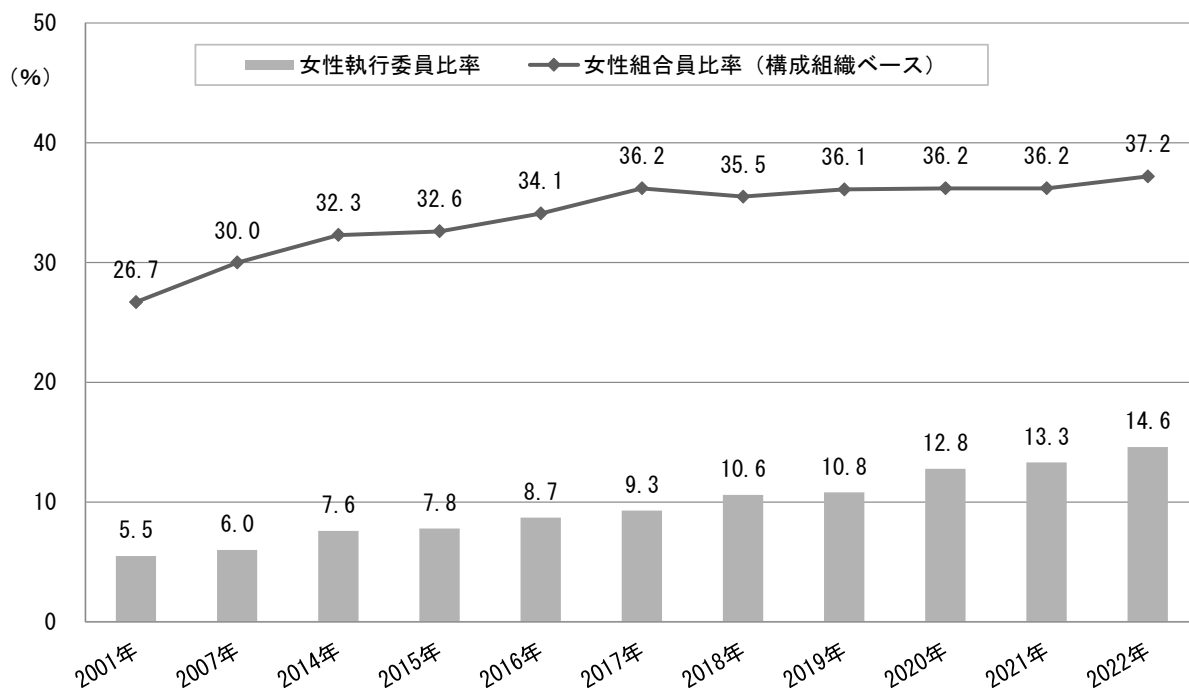


②執行機関への女性の参画機会の確保

女性執行委員比率は 14.6% である。第 4 次計画開始翌年 (2014 年調査) と比べて、7 ポイント上昇した (第 9 図)。

なお、女性三役を選出している組織は 22 組織 (46.8%)、三役に占める女性三役比率は 6.6% である。2014 年調査では、女性三役を選出していた地方連合会は 16 組織で、第 4 次計画期間中に女性三役を選出した組織数は 4 組織増加した。

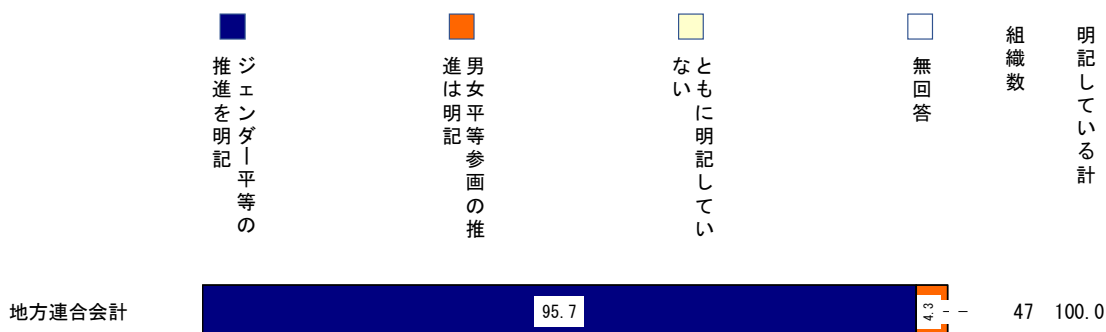
第 9 図 女性組合員比率と女性執行委員比率 (加重平均)



③運動方針への明記

運動方針への明記については、「ジェンダー平等の推進を明記」が 47 組織中 45 組織（95.7%）と大多数を占め、「男女平等参画の推進を明記」は 2 組織（4.3%）である（第 10 図）。

第 10 図 運動方針への「男女平等参画の推進」や「ジェンダー平等の推進」の明記の有無

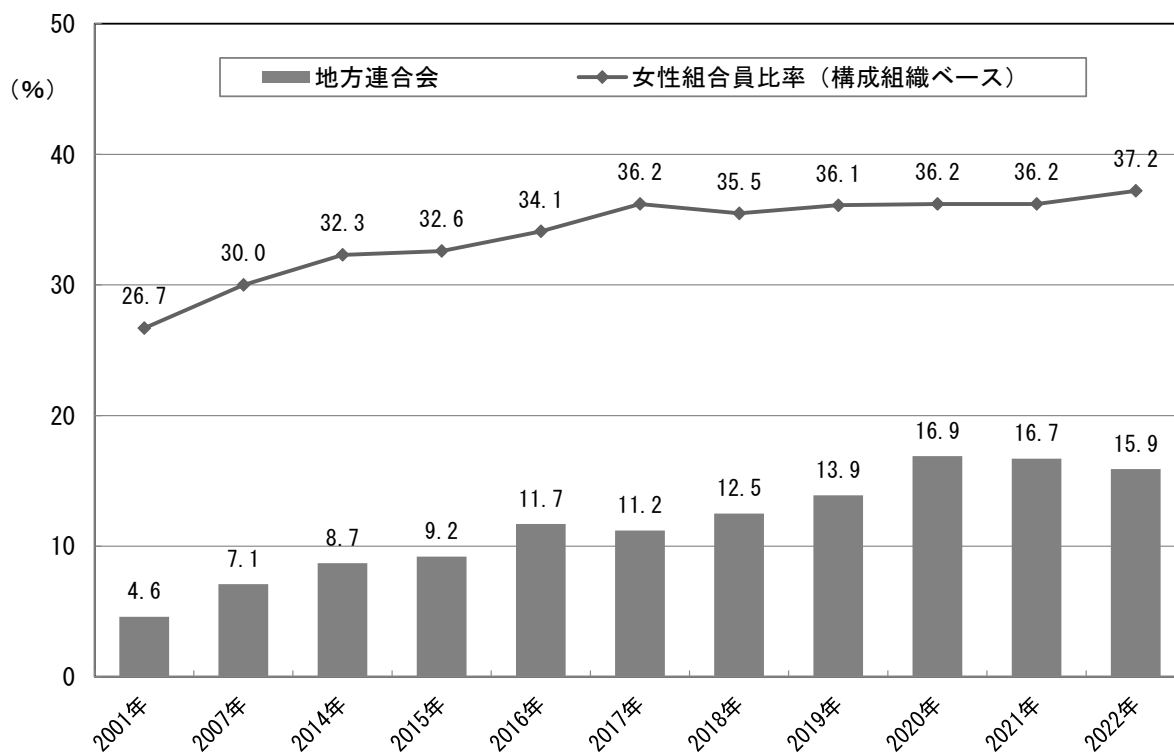


(2) Challenge！推進目標（推進すべき目標）

①議決機関への女性の参画機会の確保（大会）

大会代議員に占める女性代議員の比率は 15.9%である。第 4 次計画開始翌年（2014 年調査）と比べると、7 ポイント上昇しているが、2022 年調査ではわずかに低下がみられた（第 11 図）。

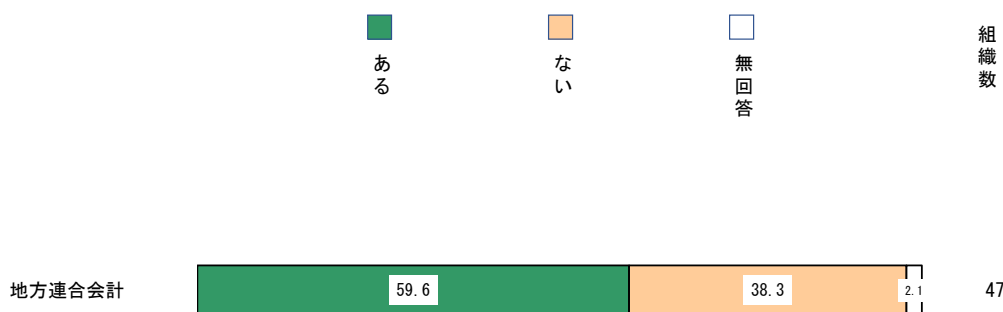
第 11 図 女性代議員比率（加重平均）



②ジェンダー平等推進を目的とする委員会等の会議体の設置

男女平等だけでなく、「性的指向・性自認（SOGI）の尊重」を目的に明示した委員会組織が「ある」は28組織（59.6%）である（第12図）。

第12図 男女平等だけでなく「性的指向・性自認（SOGI）の尊重」を目的に明示した委員会組織



③多様な人たちが参画できる活動スタイルの点検、見直し

男女平等参画、ジェンダー平等推進の取り組み（複数選択）についてみると、「特に取り組んでいない」は1組織（2.1%）で、大半の地方連合会で取り組みが行われている。具体的な取り組み内容を見ると、多様な人たちが参画できる活動のための「会議や研修等の場所・時間の工夫」（28組織、59.6%）や「参画促進のためのオンライン活用」（32組織、68.1%）に取り組む組織は6～7割を占める。そのほか、「平等参画等の研修会・学習会実施」（39組織、83.0%）と「機関紙やHPで平等参画等の特集」（35組織、74.5%）が7～8割と多い（第13図）。

第13図 男女平等参画、ジェンダー平等推進の取り組み（複数選択）

